

# アルカリオン電解水 pH13.1 純水 使用マニュアル

## 日常清掃

### □手が触れる場所やガラス・鏡の拭き掃除に

【希釈倍率】 **4～120倍** ※除菌や失活効果を期待する場合：**4～20倍**

【使用方法】 スプレーヤーで噴霧後、乾拭きしてください。または、電解水に浸したウエスを絞って拭き上げてください。いずれも別ウエスを使用したすすぎの為の2度拭きは不要です。ガラス・鏡の場合は拭き上げ後、乾拭きしてください。

【備考】 ガラスや鏡に使用した場合、希釈に使用する水道水にカルキ分が多い場合は、ウォータースポットが残ることがあります。その場合は希釈倍率を下げて（濃く）使用してください。

### □床の拭き掃除に

【希釈倍率】 **4～400倍**

※樹脂ワックス仕上の床やフローリング床に対して：**200～400倍**

※トイレの床などに消臭を期待する場合：**4～20倍**

【使用方法】 電解水に浸したモップを絞って拭き上げてください。すすぎ拭きは不要です。床洗浄機を使用する場合は、洗剤タンクに投入して洗浄してください。

### □便器の洗浄・便座の拭き掃除に

【希釈倍率】 ※便器洗浄に：**4～40倍** ※便座の拭き掃除に：**4～120倍**

【使用方法】 便器にスプレーヤーで噴霧後、ブラッシングしてください。洗浄水を流して終了です。洗浄水が流れない箇所はウエスで乾拭きしてください。便座はスプレーヤーで噴霧後、乾拭きか電解水に浸したウエスを絞って拭き上げてください。いずれも別ウエスを使用したすすぎの為の2度拭きは不要です。

【備考】 付着してしまった尿石の除去はできません。しかし、尿成分を洗浄除去することで尿石を生成するバクテリアやアンモニアの発生を抑える予防効果があります。また、便器・便座とも消臭、除菌、失活効果を期待する場合は4～20倍の希釈範囲でお使いください。

### □ユニットバス・大浴場の清掃に

【希釈倍率】 **4～40倍** ※消臭・除菌を期待する場合：**4～20倍**

【使用方法】 ユニットバスで使用する場合は、スプレーヤーで浴槽等に直接噴霧し、スポンジで洗浄してください。シャワーでサッと流してすすぎ終了です。生干しの異臭が発生したシャワーカーテンには、4～20倍で希釈した電解水を噴霧しそのまま乾燥させることで消臭効果を発揮します。大浴場で使用する場合は、床に直接散布後、ポリッシャーや高圧洗浄機で洗浄してください。すすぎはサッとで十分です。洗い場周りはスポンジやブラシを電解水で浸し洗浄してください。

【備考】 鏡に発生したウロコの除去はできません。また、カビ取り剤との併用も可能です。ただし、酸性洗剤と併用しても問題はありますが、お互いの洗浄力が相殺されてしまいます。

### □カーペットやソファ等のシミ抜きに

【希釈倍率】 **4～40倍**

【使用方法】 スプレーヤーで噴霧後、素材に合わせてブラシなどでアジテーションを加えてウエス吸着回収してください。アルカリは自己分解しますので安全です。染色されたシミを取ることはできません。

【備考】 シルク・ウールには変色する恐れがありますので、使用しないでください。

## 定期清掃

### □ワックス床の定期洗浄に

【希釈倍率】 **20～40倍**

【使用方法】 モップで先塗り、タンクポリッシャーでの滴下洗浄どちらでも使えます。汚水を回収した後のすすぎは原則必要ありません。乾燥後ワックスをリコートしてください。

【備考】 先塗り時に電解水がはじいてしまう場合は、10Lに対し2～3滴の中性洗剤を添加すると濡れ性が改善されて床に対して馴染むようになります。

□ワックス床の剥離作業に

【希釈倍率】 **原液～20倍**

【使用方法】 上記倍率で希釈した電解水と剥離剤原液を混ぜてください。剥離剤の希釈倍率はその剥離剤が定める最高濃度を採用してください。

【備考】 直接剥離剤を床に撒き、自在ほうきで塗り広げると効果的です。モップをペール内の剥離剤に浸して塗布する方法では、モップに付着した溶解ワックスが剥離剤に混入してしまい本来の剥離性能を発揮できません。剥離剤で均一な水面を作るイメージで少し多めに塗布するのがコツです。リンス洗浄やモップでのすすぎ拭きの際にも電解水を使用すると床がサラサラに仕上がります。

□セラミックや石質のフローアー、エンボス床の洗浄に

【希釈倍率】 **4～120倍**

【使用方法】 モップで先塗り、タンクポリッシャーでの滴下洗浄どちらでも使用できます。汚水を回収した後のすすぎは原則必要ありません。排水設備が無く大量の水を使えないシチュエーションでは、電解水を散布しマイクロファイバーパッドなどで拭きあげるセミドライ方式でも洗浄ができます。

【備考】 先塗り時に電解水がはじいてしまう場合は10Lに対し2～3滴の中性洗剤を添加すると濡れ性が改善されて床に対して馴染むようになります。

□カーペットの洗浄に

【希釈倍率】 **4～120倍** ※消臭・除菌効果を期待する場合：**4～20倍**

【使用方法】 **【ヤーンパット工法・スプレーバルチャー工法時】**  
スプレヤーなどで噴霧後、ヤーンパッドやマイクロファイバーパッドで拭きあげます。

**【2ステップ工法・エクストラクション工法・スチーム工法時】**  
スプレヤーなどで噴霧後、ポリッシャーにてアジテーションしてください。エクストラクション（リンサー）の清水に電解水を希釈することで洗浄効果、消臭効果が向上します。

【備考】 ポリッシャーから電解水を直接滴下することはお勧めしません。発泡性が無いため、均一に塗り広げることができないためです。また、ウールなどの天然素材には使用しないでください。変色する恐れがあります。機械などに入れて使用した場合は、必ず清水にてタンク内の濯ぎあらいをしてください。

□エアコン洗浄に

【希釈倍率】 **4～120倍**

【使用方法】 スプレヤーで噴霧後、すすいでください。もしくはエアコン洗浄機に電解水を自吸させて噴射洗浄後、すすいでください。

【備考】 油汚れなどで酷い時は電解水をお湯で希釈することで洗浄力が著しくアップします。

□厨房周りの洗浄に

【希釈倍率】 **原液～40倍**

【使用方法】 スプレヤーで噴霧、お湯で希釈して浸け置きなど、あらゆる洗浄方法で使用できます。いずれの方法においても、温めることが洗浄力を向上させるコツです。フライヤーにて電解水を温めて、各箇所の洗浄に使用すればフライヤーの洗浄も同時にできます。

【備考】 頑固な汚れには洗剤への添加剤として電解水を使用することも有効です。中性、アルカリ性洗剤使用時に限ります。

希釈倍率早見表 ※下記の希釈倍率時のpH値は理論値です。

原液	2倍	3倍	4倍	5倍	10倍	15倍	20倍	25倍	30倍	35倍	40倍
pH 13.1	pH 12.79	pH 12.62	pH 12.49	pH 12.4	pH 12.1	pH 11.92	pH 11.79	pH 11.7	pH 11.62	pH 11.55	pH 11.49
	45倍	50倍	55倍	60倍	65倍	70倍	75倍	80倍	85倍	90倍	95倍
	pH 11.44	pH 11.4	pH 11.35	pH 11.32	pH 11.28	pH 11.25	pH 11.22	pH 11.19	pH 11.17	pH 11.14	pH 11.12
	100倍	105倍	110倍	115倍	120倍	130倍	135倍	140倍	145倍	150倍	155倍
	pH 11.1	pH 11.07	pH 11.05	pH 11.03	pH 11.02	pH 10.98	pH 10.96	pH 10.95	pH 10.93	pH 10.92	pH 10.9
	160倍	170倍	180倍	190倍	200倍	250倍	300倍	350倍	400倍		
	pH 10.89	pH 10.86	pH 10.84	pH 10.82	pH 10.79	pH 10.7	pH 10.62	pH 10.55	pH 10.49		